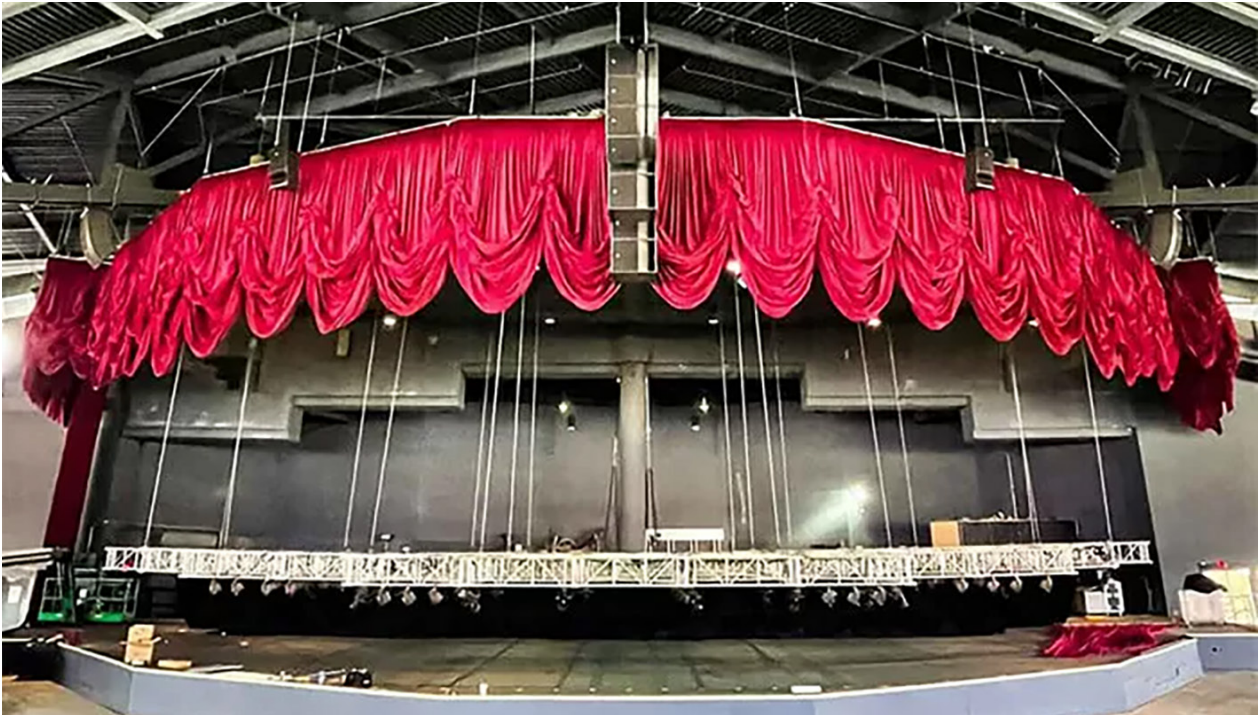




## シーワールド・サンアントニオの電気・オーシャン・コンサート・シリーズがL-Acousticsと成功を収める



LD SystemsはパークのL-Acousticsスピーカーシステムを記録的な速さで設計、設置しました。

LD Systemsは、3,000人収容のノーチラス・アンフィシアターに新しいAシリーズシステムを設置します。

### 2021年7月

テキサス州に本格的な夏が到来し、テーマパークにも多くのお客様が訪れるようになったことを受け、シーワールド・サンアントニオは、通常の入場料に追加料金なしで、2ヶ月間にわたる「電気・オーシャン・コンサート・シリーズ」を開催しています。エバークリア、リトル・リバー・バンド、ジョシュ・アボット、エン・ヴォーグ、ニュースボーイズ、クリス・ジャンセン、パニラ・アイス、ジェシー・マッカートニー、38スペシャル、マシュー・ウエスト、シェリー・ラレス、エア・サブライ、ブルー・

オイスター・カルトなど、人気の高いアーティストが出演し、最近新しいサウンドシステムを導入した3,000席のノーチラス・アンフィシアターで、様々な人気の演目が上演されます。LD Systemsは、L-Acoustics Aシリーズをベースにした新しいスピーカーシステムを記録的な速さで設計・設置しました。これにより、コンサートパビリオンの全ての座席をカバーするサウンドが実現し、より多くのゲストを迎えることができるようになりました。



Vanilla Ice (写真)、Everclear、En Vogue、38 Special、Matthew West、Air Supply、Blue Oyster Cultなどが、会場の新しいPAシステムを使用しています。





シー・ワールド・サン・アントニオ劇場のシアトリカルサービスマネージャーであるダグラス・ファーガソン (Douglas Ferguson) 氏によると、同パークでは3年前に別の公認プロバイダーが納入したL-Acousticsのシステムで既に良い実績を上げていました。「シーワールドは、ARCS WiFo システムを所有していますが、これはもともと2018年に夏のHydroPower Extreme FX Ski Showのためにベイサイドスタジアムに設置されたものです。」と語ります。「ノーチラスアンフィシアターには専用のシステムがなかったため、イベントやショーの必要に応じてベイサイドのWiFoリグを持ち込むことがありましたが、広い座席エリアをカバーするには十分ではありませんでした。エレクトリック・オーシャン・コンサート・シリーズを計画するにあたり、会場を完全にカバーし、長期的にレンタルシステムを使用する必要をなくし、ライダー適応性の高い常設ソリューションをノーチラスに導入したいと考えていました。」

ファーガソン氏は4月19日にLD Systemsのセールスエンジニアであるジョーダン・ピアス (Jordan Pierce) 氏に連絡を取り、プロセスはそこから急速に進みました。「ピアスさんはすぐにL-Acousticsのマークス・ロス (Marcus Ross) さんと協力し、2日後には厳しいスケジュールと予算に見合った設計案を提出してくれ、4月23日には購入の条件に合意しました。」とファーガソン氏は振り返ります。「5月24日に設置を開始し、その5日後には最初のコンサートが開催されました。」

180°の扇形をした円形劇場の新しいシステムは、4台のA15i (3台のFocusの下に1台のWide) で構成されたセンターアレイと、4台のKS21で構成された2つのサブアレイ、そして左右のアレイはそれぞれ3台のA15i (2台のFocusの下に1台のWide) で構成されています。垂直方向に配置された1台のA15iがメインフィルとしてサブウーハーの隣に配置され、垂直方向に配置された2台のA10iが左右のアレイの外側に配置されて遠方用アウトフィルを提供しています。最後に、フロントフィルの明瞭度を高めるために2台のKiva IIが配置され、6台のLA4Xアンプリファイド・コントローラーがシステム全体のドライブとプロセッシングを行っています。これはLD Systems オーディオ部門の運用マネージャーであるトーマス・ラフナー (Thomas Ruffner) 氏によって調整されました。

パーク内のウォーター・ライド「Journey to Atlantis」の隣に位置するこの会場は、メモリアルデーの週末にプレオープンし、ガース・ブルックスのトリビュートアーティストであるショーン・ゲルハードによる8回のショーが行われた後、6月5日にはエパークリアが18回のエレクトリック・オーシャン・コンサート・シリーズを正式にスタートさせました。この夏のコンサートでは、すべてのアーティストがL-Acousticsの新しいハウスリグを使用しています。コンサートシリーズに続いて、ハロウィーンミュージカルレビュー、クリスマス为主题にしたショー、チア&ダンスコンテストなど、年間を通してさまざまなスペシャルイベントが開催されます。

「シー・ワールド・サン・アントニオのエンターテインメント部門は、ノーチラス・アンフィシアターが蘇ったことに興奮していますが、さらに重要な事は、シー・ワールドのゲストにイマーシブ感あふれるサウンドと充実したコンサート体験を存分に楽しんでもらっています。」とピアス氏は話しています。「実は、シー・ワールドが円形劇場の外側の客席を開放したのは久しぶりのことでした。新しいシステムのおかげで美しい高いSPLのサウンドで観客エリア全体を完全にカバーできます。Aシリーズは、長いアレイで視界を遮ることなく会場をカバーできるので、カーテンプロセニウムポケットにうまく収まりました。また、どのパフォーマンスグループも追加のサブエンクロージャーを必要としないほど、ローエンドがきれいに会場を満たしていることに誰もが感心しています。サウンド、カバレッジ、予算など、いろいろな理由から、Aシリーズはこのプロジェクトに絶対に必要なものでした。この金額でこのSPLは驚くべきものです!」

ファーガソン氏は同意します。「新しいL-Acousticsスピーカーの音質とカバレッジは本当に驚異的です。このプロジェクトの目標は、会場のカバレッジと奥深さを確保することでした。LD Systems社がAシリーズを提案してきたとき、私はこれが今後何年にもわたってすべての基礎をカバーすることができるかと確信し、一流のPAを手に入れることに興奮しました。このシステムは、すべてのタレントの要求を満たすことができ、このコンサートシリーズや他の多くのイベントを今後何年にもわたって成長、拡大させることができるということに感銘を受けています。」



中央のA15iアレイと2台のKS21サブアレイの様子。